



令和6年度

山口県立萩看護学校

SCHOOL GUIDE



〒758-0057 山口県萩市大字堀内字菊ヶ浜489-5

TEL 0838-26-6500 FAX 0838-26-6510

E-Mail a15133@pref.yamaguchi.lg.jp

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/71/18933.html>





沿革

平成7年(1995年)1月1日 山口県立萩看護学校 設置
 平成7年(1995年)4月1日 山口県立萩看護学校 開校
 平成7年(1995年)4月1日 専修学校 認可

山口県立萩看護学校は、看護師を目指す者に対し、必要な知識・技術を授けるとともに、山口県内、北浦地域の看護師の育成・確保をはじめ、地域の医療の充実を図り、優秀な看護師の輩出による若者の定住促進にも寄与することを目的として、県内外から広く学生を募り教育にあたっています。



教育方針

教育理念

山口県立萩看護学校は、県内唯一の県立看護師養成所として、「広い視野」「思考する力」「実践する力」を持ち、山口県、北浦地域の保健医療福祉のあらゆる場において必要とされる看護実践者を育成する。

看護基礎教育では、質の高い看護実践者の育成のために、専門分野の学習を深めるとともに職業に必要な倫理観や責任感、豊かな人間性や人権を尊重する意識、看護専門職として生涯にわたり学び続ける自己教育力の育成が求められている。

人口及び疾病構造の変化や、療養の場の多様化をふまえ、社会地域のニーズに即した看護実践者の役割を果たすため、看護専門職として、基礎的な知識・技術・態度を習得し、多職種と連携して保健医療福祉チームに貢献できる人材の育成を理念とする。



教育目的

看護職として必要な知識・技術・態度を教授するとともに、社会における保健医療福祉に貢献できる看護の実践者を育成する。



教育目標

- ① 対象の人生観や価値観を尊重し、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解し、健康でその人らしい生活を支えるための基礎的能力を養う。
- ② 対象の状況を根拠に基づいて、解釈・分析し、必要な看護を実践する基礎的能力を養う。
- ③ 対象の生命の尊厳と人権を尊重し、看護師に必要な倫理観に基づいた責任ある行動がとれる基礎的能力を養う。
- ④ 看護師の役割と責任を理解し、誠実性・協調性・積極性を身につける。
- ⑤ 地域でのその人らしい生活を支えるための保健医療福祉チームの一員として、多職種と連携・協働できる基礎的能力を養う。
- ⑥ 看護専門職者として、探究心を持ち、主体的に学び続ける基礎的能力を養う。





学科紹介

第一看護学科 定員 1 学年 40 人・全日制（週 5 日）

第一看護学科は、主に高等学校を卒業した人が看護師になるために学ぶ課程です。

学生は、看護について基礎から学び、倫理観に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養うことを目指しています。

教育内容は、3年間で102単位3,030時間の講義・実習を行います。基礎分野では、人間を広く深く理解するための科目を学びます。専門基礎分野では、人間の体の構造や働き、病気の成り立ちや治療について学びます。専門分野では、各看護学を学ぶとともに、看護の統合として、各看護学の講義や実習をふまえ、より実践に近い看護を学びます。

実習は、3年間で1,035時間行います。主な実習施設である長門総合病院では、教員に加え看護師からも熱心な指導を受けながら実習を行います。また、北浦地域の特別養護老人ホームや訪問看護ステーションなどでも実習を行います。精神看護学実習は、山口県立こころの医療センターで行います。

学生一人一人が責任をもって行動し、クラスで協力しながら全員が『看護師国家試験合格』の目標を達成できるように教育支援をしています。これは、将来、チーム医療の一員として責任ある行動ができる自律した看護師の基盤となります。

● 教育進度

分野	年次	1年次	2年次	3年次
基礎分野(14単位)	講義	論理学、教育学、情報科学、生命と倫理、心理学、社会生活論、健康と運動	看護研究の基礎、社会学、医療英語、文学、人間関係論	文化人類学
専門基礎分野(22単位)	講義	解剖学、看護形態機能学、生理学、生化学、病理学、病態症候学、微生物学、薬理学総論、栄養学、保健医療論	臨床医学1・2・3・4、薬理学各論、公衆衛生学、社会福祉、関係法規	
専門分野 I (66単位)	講義	看護学概論1・2、基礎看護技術1・2・3・4・5・6、臨床看護総論1・2、コミュニティ論1・2、成人看護学概論、老年看護学概論、小児看護学概論1、母性看護学概論、精神看護学概論1	地域・在宅看護概論、地域・在宅看護援助論1、成人看護援助論1・2・3・4・5、老年看護援助論1・2、小児看護学概論2、小児看護援助論1、母性看護援助論1・2、精神看護学概論2、精神看護援助論1、看護の統合と実践1・2	地域・在宅看護援助論2・3、老年看護援助論3、小児看護援助論2、母性看護援助論3、精神看護援助論2、看護の統合と実践3・4
	実習	基礎看護学実習1・2、コミュニティ実習	成人・老年看護学実習1・2・3、老年看護学実習	在宅看護論実習、成人・老年看護学実習4、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習、統合実習

● 看護師国家試験合格率（新卒者のみ）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
100.0%	94.2%	97.2%	100.0%	100.0%

● 取得可能な資格

看護師国家試験受験資格、保健師・助産師養成所受験資格、大学編入学試験受験資格

● 卒業生の就職先（令和5年度）

県立総合医療センター、山口大学医学部附属病院、山口赤十字病院、済生会下関総合病院、済生会山口総合病院、萩市民病院、長門総合病院ほか

● 卒業生の進学先（大学編入等）（令和5年度）

藤華医療技術専門学校助産学科





学科紹介

第二看護学科 定員 1 学年 25 人・昼間定時制（週 3 日）

第二看護学科は、准看護師免許を取得した人が看護師になるために学ぶ課程です。

働きながら学習ができるように、2年課程のカリキュラムを3年間で学びます。

看護師になるために必要な専門知識と技術を習得し、看護の対象を理解し、科学的根拠に基づいた看護が実践できる基礎的能力を養うことを目指しています。

教育内容は、3年間で72単位 2,170時間の講義・実習を行います。基礎分野では、人間を広く深く理解するための科目を学びます。専門基礎分野では、人間の体の構造や働き、病気の成り立ちや治療について学びます。専門分野では、看護学を学び、統合分野では、より実践に近い看護を学びます。

実習は、3年間で720時間行います。主な実習施設である萩市内の病院では、教員に加え看護師からも熱心な指導を受けながら実習を行います。また、北浦地域のデイサービスセンターや訪問看護ステーションなどでも実習を行います。精神看護学実習は、山口県立こころの医療センターで行います。

学生が学習と仕事の両立のために責任をもって行動し、クラスで協力しながら全員が『看護師国家試験合格』の目標を達成できるように教育支援をしています。これは、将来、チーム医療の一員として責任ある行動ができる自律した看護師の基盤となります。

● 教育進度

分野	年次	1年次	2年次	3年次
基礎分野(10単位)	講義	情報科学、生命と倫理、心理学、医療英語、社会生活論、健康と運動	看護研究の基礎、社会学、文学、人間関係論	
	講義	解剖学、生理学、生化学、病理学、病態生理学、微生物学、保健医療論	臨床医学1・2・3・4、薬理学、公衆衛生学	社会福祉、関係法規
専門基礎分野(15単位)	講義	看護学概論、基礎看護技術1・2・3・4、臨床看護総論、コミュニティ論1・2、成人看護学概論、老年看護学概論、小児看護学概論、母性看護学概論、精神看護学概論	地域・在宅看護概論、地域・在宅看護援助論1、成人看護援助論1・2、老年看護援助論1、小児看護援助論1・2、母性看護援助論1・2、精神看護援助論1・2	地域・在宅看護援助論2、成人看護援助論3、老年看護援助論2、看護の統合と実践1・2・3・4
	実習	基礎看護学実習、コミュニティ実習	成人・老年看護学実習1・2、小児看護学実習	在宅看護論実習、母性看護学実習、精神看護学実習、統合実習

● 看護師国家試験合格率（新卒者のみ）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

● 取得可能な資格

看護師国家試験受験資格、保健師・助産師養成所受験資格、大学編入学試験受験資格

● 卒業生の就職先（令和5年度）

県立総合医療センター、都志見病院、萩市民病院、済生会豊浦病院、済生会山口総合病院、小郡第一総合病院、国立病院機構柳井医療センター、県立こころの医療センター

● 卒業生の進学先（大学編入等）（令和5年度）

藤華医療技術専門学校助産学科





学校生活

学内学習

看護に必要な基礎的知識・技術・態度を講義や講習、学内実習で学びます。



● 基礎看護学

基礎看護学では、看護実践の基礎となる技術を学びます。

看護実習室において、生体シミュレーター、演習用のモデル人形を用いて、日常生活援助技術や診察に伴う技術などを習得します。また、学生同士で患者役と看護師役に分かれて技術演習も行います。



● 母性看護学

母性看護学では、母子の健康の維持増進、疾病予防のために家族を含めた看護を学びます。

看護実習室において、妊婦モデル、胎児模型、新生児モデル人形、沐浴槽等を用いて、出産前後に必要な看護技術を習得します。



● 老年看護学

老年看護学では、老化による機能変化や健康障害が日常生活にどのように影響するかなど、老年期に多い症状や疾患と看護について学びます。

演習では、視力や聴力の低下、腰や股関節が曲がった状態をつくりだす高齢者体験セットをつけて、高齢者を疑似体験し、高齢者の感じる不自由さや環境の安全面を考えた生活援助につなげます。

臨地実習

学内で学んだ知識・技術・態度を実際の看護場面で統合し、看護実践に必要な基礎的能力を養うため、病院・介護老人福祉施設・訪問看護ステーションなどで実習を行います。

● 主な実習施設



長門総合病院



都志見病院



萩市民病院

学生による自治会活動

自治会役員が中心となり、行事などの自治会活動を行い学生間の交流や親睦を深めています。





施設紹介



校舎

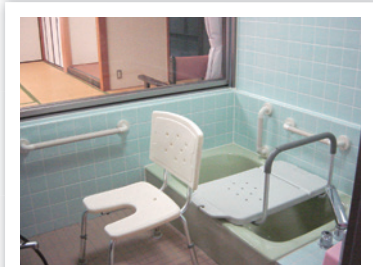
看護に必要な知識及び技術を学ぶための様々な施設及び設備があります。



● 看護実習室

看護実習室では、基礎的な看護技術を学習し、それを応用して看護実践に必要な広い領域の看護を学びます。

病院の病室と同様のベッドや設備を用いて、実際の場面と同じような状況での看護の能力を身につける学習を行います。



● 在宅看護実習室

在宅看護実習室では、在宅で療養している人への看護の実際を学びます。住み慣れた場所でその人らしい療養生活が維持できるように、自立を促し「quality of life(生活の質)」の向上を目指します。台所、居間、浴室、トイレなど個人住宅の環境を再現し、訪問時のマナーも含め技術を身につけます。



● 標本室

標本室には、人体の各部の模型やモデル、講義に必要な教材等を多数備えています。

看護には、人体の構造の理解が必要であり、講義において、人体の構造と機能の理解のために活用しています。

学生寮

名称 もえぎりょう 「萌木寮」(女子専用)

● 施設概要

鉄筋コンクリート4階建

1階：管理人室・食堂・共同浴室・談話室

2～4階：個室各階20室・計60室(冷暖房完備)

補食室(電磁調理器各階2台設置)

洗濯室(洗濯機・乾燥機各階3台設置)

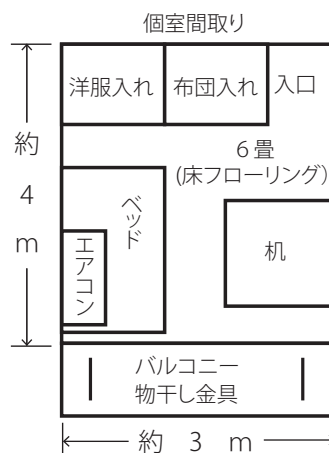
共同洗面所(各階)

共同トイレ(各階)

● 費用

(令和6年4月現在)

寮使用料(年額)	9,600円
食費(月額)	1日(3食)1,868円 ×平日日数
個室電気代	実 費
共用電気代・水道・下水道・風呂灯油代	実 費
寮自治会費(月額)	500円
NHK受信料(年額)	実 費





卒業生からのメッセージ



第一看護学科 (27 期生)
管田 夏海さん

私は家族からの勧めもあり看護師になりたいと思い、看護師国家試験の合格率の高かった萩看護学校に入学しました。萩看護学校は、菊ヶ浜がすぐそばにあるなど豊かな自然に囲まれており、落ち着いて学習できる環境です。座学では、学校の先生からの授業だけでなく、現場で働いている医師や看護師、理学療法士などからの授業もあり、より臨床で役立つ知識を学ぶことができました。また、臨地実習は1年時からあり、すべての実習で患者さんを受け持たせて頂きました。実習では、授業で学んだことを活用しながら患者さんの状態を把握し、看護に繋がりました。実習を通して、入院時から退院後を見据えた看護を行うことの重要性や患者さんの思いを尊重した看護を行うことの大切さを学びました。3年間という短い時間なので忙しいですが、親身になって指導して下さる先生方や切磋琢磨しあえる仲間恵まれ、充実した日々を送ることができました。萩看護学校での学びを臨床でも活かし、北浦地域の医療に貢献していきたいです。



第二看護学科 (27 期生)
刀禰 成美さん

私は、准看護師免許を取得後、萩看護学校に入学しました。学業と病院での勤務の両立は慣れないことも多く、不安もありましたが、臨床での経験が学びを深めるための助けにもなりました。入学後、より専門的な知識をつけるため講義や技術練習、実習とやるべきことが多く、何度も壁にぶつかりました。しかし、その度に仲間や先生方の支えもあり、3年間乗り越えることができました。コロナ禍の実習ではありましたが、実際に患者さんと関わらせて頂き、患者主体に看護を展開していく大切さを学ぶことができました。また、実習指導者さんや先生方からの助言を受け、自分に足りない視点にも気づくことができました。萩看護学校での学びを活かし、質の高い看護が提供できるように日々自己研鑽していきたいと思っております。



費用・奨学金等

費用

(令和6年4月現在)

- 入学金 0円
- 授業料

第一看護学科 (年額)	年額 108,000円
第二看護学科 (年額)	年額 54,000円

● その他

テキスト代(入学時)	190,000円程度(第一看護学科) 170,000円程度(第二看護学科)
教材費・実習見学旅費等(3年間)	250,000円程度
実習衣等(入学時)	60,000円程度
学校保険料(1年間)	4,500円程度

※令和7年度より、電子テキストを導入予定

奨学金・授業料減免制度について

- 「高等教育の修学支援新制度」
 - ・ 日本学生支援機構奨学金制度 (給付奨学金) 学業、家計 (収入・資産)、多子世帯 (扶養している子の数が3人以上の世帯)、入学時期等の基準を満たす者に対して選考の上給付を行います。
 - ・ 授業料減免制度 上記奨学金の支給対象となる学生は、学校に申請することにより、授業料減免も同時に受けることができます。
- 日本学生支援機構奨学金 (貸与型) ; 第一種奨学金 (無利子)、第二種奨学金 (有利子)
- 山口県看護師等修学資金 ○山口県ひとづくり財団定住促進奨学金 その他自治体等の奨学金があります。

専門実践教育訓練給付金について

専門実践教育訓練での「教育訓練給付金」制度

入学前に、雇用保険に2年以上加入しており、本校に入学した方は、授業料の50%支給。看護師資格を取得し、かつ受講終了日から1年以内に被保険者として雇用された場合は、さらに20%支給。

専門実践教育訓練での「教育訓練支援給付金」制度

上記受給資格者のうち、一定の要件を満たした方が失業状態にある場合に、訓練受講をさらに支援するために、雇用保険の基本手当の日額の80%に相当する額を支給。

スクールカラー 「萌木色」



看護活動は、人の生命力を育むと共に生きていく活力を養うことを助けることにあり、また、それを基盤にした人と人との関わりです。

人間味あふれる看護の心を持ち、豊かな教養に支えられた創造性を持って行動できる看護者になる若者達の姿を、芽生えてゆく「萌木色」にとらえました。



アクセス

- 山陽新幹線 新山口駅→(防長バス・JRバス70分)→萩バスセンター→(萩循環まあるバス(晋作くん)7分)→萩看護学校前
- JR山陰本線東萩駅下車→(徒歩25分)
- JR山陰本線玉江駅下車→(徒歩25分)

